

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月16日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部/国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年1月16日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ネバダ大学リノ校(日本語名) University of Nevada, Reno(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月~2022年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称):  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4 月上旬~7 月下旬、 2 学期/9 月中旬~2 月上旬	1 学期:1 月中旬~5 月中旬      2 学期:8 月下旬~12 月下旬 3 学期:                              4 学期:
学生数	20,722
創立年	1874年



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料		円	交換留学の為明治大学の授業料のみ
宿舍費	4290	575,000 円	
食費	3020	404,500 円	ミールプラン blue
図書費	50	6,500 円	教科書 2 冊レンタル
学用品費		円	
携帯・インターネット費	108	14,500 円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	93	12,500 円	
保険費	393	52,705 円	形態:海外旅行保険 現地大学の保険は払った後、免除を申請することができる。
渡航旅費	5973	800,000 円	往復の料金。 出国直前にコロナに罹り、留学生オリエンテーションに間に合う日程でとりなおしたので通常より高いです。
ビザ申請費	167	22,400 円	
雑費	1,188	160,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計	15,283	2,048,105 円	



## 渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:	羽田 目的地:
リノ 経由地:	サンフランシスコ
復路 出発地:	ロサンゼルス 目的地:
羽田 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合	
航空会社:ANA	
料金:約 80 万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合	
往路 航空会社:	料金:
復路 航空会社:	料金:
	∴合計:
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:ANA 公式)	
<input type="checkbox"/> その他( )	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:LLC)	<input type="checkbox"/> アパート
<input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ
<input type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学のホームページ→寮の紹介ページ→応募フォームに記入	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>LLC は他の寮に比べると少し高いですが、空調も水道もおおむね問題なく使うことができた上に私が滞在していた期間にはエレベーターの故障も無くて快適に過ごせました。</p> <p>ルームメイトが来なくて、二人部屋を一人で使えたので他人と暮らすストレスが少なかったのも幸運でした。</p> <p>私は寮しか調べなかったのですが、ホームステイをしている人もたくさんいたので視野に入れてみるといろいろな出会いがあっただけいいと思います。</p>	



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
 あり (治療を受けた場所: 風邪をひいてヘルスセンターへ)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

犯罪マップを見たり、先輩の報告書やネットの記事から情報収集をしました。基本的にキャンパスの中で生活することになったので治安は悪くないと感じましたが、バスの中やダウンタウンは一人でいると危ないので絶対に二人以上で行くようにしていました。

幸いにも滞在中に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校のWi-Fiがキャンパス内と寮の全域で使えたのでネットは快適でした。一か月3GBあれば十分です。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を300ドルとクレジットカード二枚(VISA・Master)を使っていました。西海岸だけでなく、東海岸にもいきましたが困ることはありませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

お気に入りの化粧水や薬は簡単に手に入らないことが多いので持っていくと良いと思いますが、こだわりが無ければほとんどのものが現地調達可能です。最初の数日分はトラベルキットなどを用意して後から買うのが楽だと思います。

7) 【授業料負担型の方】 授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> (予定では)10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:看護 医学部の専門科目は受けられない		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
ANTH 101 Intro to Cultural Anth		人類学入門
科目設置学部・研究科		
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Mikaela Rogozen-Soltar	
授業内容	人類の歴史や社会の構造、ジェンダー観などを普遍的に扱った内容でした。週 3 回の授業のうち 2 回はホールで講義を聞いて、1 回は小さなクラスに分かれてその週に扱った内容についてディスカッションをします。	
試験・課題など	学期中に 3 回のテストとレポートが 1 つ出ます。 それとは別に毎週ディスカッションのクラスでリーディング課題が出されます。	
感想を自由記入	講義の中で、私が興味のあるテーマである女性の権利や異文化交流について学ぶことができたのはもちろん、経済や政治体制についても扱われていたため様々なテーマについてアメリカの学生の意見や感覚を知ることができたのがとても面白かったです。テストは選択問題と記述問題がどちらも含まれていて少し難しかったです。平均以上の点数はとれます。TA の先生も親切で留学生だということを伝えたらサポートしてくださったので安心感のある講義でした。取ってよかったと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ETS 280 Native American Culture		アメリカ先住民の文化とアイデンティティ	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Debra Harry		
授業内容	アメリカ先住民の生活から、ヨーロッパの植民が始まって彼らの立場がどう変化してきたか、どう戦ってきたのかを扱う講義でした。映画を観てクラス内で発表があったり、先住民と白人の立場に分かれてディベートしたりと積極的な参加が求められる授業です。		
試験・課題など	学期中に 2 回のテストがあります。 また、毎週アクションペーパーを週末までに明治大学でいう OhMeiji のようなサイトから提出する必要があります。		
感想を自由記入	せっかくアメリカに行くならアメリカならではの内容の講義を一つ取りたいと考えて履修した講義でした。歴史だけでなく、現代の映画での先住民の描かれ方や現在どのような問題を抱えているのか、日本にいてはあまり注目することのない内容を学ぶことができたのが面白かったです。クラスメイトに実際にネイティブアメリカンの家系の生徒がいたりして彼らの考え方やスタンスが新鮮でした。規模の小さなクラスでグループワークも多いので友達作りやすいと思います。テストや毎週の課題の難易度も高すぎると言うことが無く、先住民についての予備知識がほとんどない状態でもついていくことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ENG 113 Composition 1 Intrntl and Multling		非ネイティブ(留学生と多言語学生)のための文章構成	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jenna Altherr Flores		
授業内容	様々な目的の文章の書き方、気をつけるべきポイントを学びます。ネット記事や自伝の書き方、学術論文の読み方と効果的な引用の仕方などを実践形式で身に着けます。		
試験・課題など	試験のかわりに Major project と呼ばれる課題を 3 つと期末に振り返りシートが課されます。 それに加えて毎回の授業で次の授業に備えた課題が出されます。		
感想を自由記入	留学中はこの講義で一番英語を使ったと思います。ただ、毎回の授業の課題が重く、他の授業の課題がギリギリになることがありました。留学生が受けなくてはいけない英語の実力テストの結果で振り分けられたクラスでしたが、もう一つのスピーキングのクラスが数の数え方をやっている中、かなりの量の文章を書かなくてはいけなかったのが難易度に差があると感じました。書くことがかなり好きでないといつらい講義だと感じましたが、クラスメイトが留学生ばかりなのは心強いです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
GRI 103 Intersectional Analysis Ident	アイデンティティの交差性分析
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Escenthio Marigny
授業内容	一つの事件や社会的問題が、人種、階級、ジェンダ、経済格差などのうち一つだけが関係しているわけではなく、様々な要素が絡み合っていることを理解し、その問題についてどうアプローチすべきなのか、何が問題なのかということを分析する講義でした。
試験・課題など	試験が 2 回、プレゼンテーションが 1 回あります。 それ以外に講義内で課題が出されることもあれば課題が全くない週もあります。
感想を自由記入	私が取った講義の中で一番面白かったです。同じ講義名で先生が違うコースもありますが、Escenthio の方がおすすめです。生徒から意見を引き出すのが上手いですし、教室内を発言しやすい空気してくれます。生徒同士で話し合う機会も多く、最後のプレゼンテーションは生徒がそれぞれの興味に合わせて自分のテーマを決めるので多様で面白かったです。全く違うバックグラウンドを持っている人同士が率直に意見を交換しているので聞いているだけでも面白いですし、日本人の感覚を話すとき真剣に聞いてくれるのでディスカッションに参加できるともっと面白いです。明治大学で多様性やジェンダに関する講義をとって面白いと思った人は好きな講義だと思いますし、得られるものも多いと思います。

The image shows a screenshot of a course schedule grid. The grid has columns for days of the week (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday) and rows for time slots (e.g., 10:00, 11:00, 12:00, 13:00, 14:00, 15:00, 16:00, 17:00, 18:00, 19:00, 20:00, 21:00, 22:00). Several green boxes are placed within the grid, indicating class times and topics. The topics mentioned in the boxes include 'Intersectional Analysis Ident' and 'Intersectional Analysis Ident (English)'. The grid also shows some empty slots and other course offerings.

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学決定
留学開始年	1月～3月	3月ごろ留学先大学に出願。必要書類の準備。(英文残高証明書や成績証明書)
	4月～7月	ビザ申請、予防接種(2回)、航空券購入、滞在先の確保、履修登録
	8月～9月	留学開始 オリエンテーションに参加 教科書購入
	10月～12月	10月に中間試験 12月に期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

### ・留学で良かったところ

私にとっては初めてのアメリカだったのですが、生活がキャンパスの中で完結するので治安がいいのが安心できるポイントでした。少なくとも私が滞在していた半期の間にあからさまな差別を受けたり犯罪に巻き込まれることはありませんでした。キャンパスの設備も非常にきれいで過ごしやすかったです。ただ、寮はどの寮を選ぶかでかなり違うのでしっかり調べることをお勧めします。私はLLCで少し高かったのですが、その分快適でした。

留学中は現地の学生との会話や生活を通して日本との違いや共通点を感じる日々で、日本を客観的な視点で見つめ直す機会を得ることができました。日本にいただけではできなかった体験をして視野が広がったと感じるし、たった半年で大きく成長できたと思います。これは人によってプラスにもマイナスにもなることですが、リは日本人が意外と多いです。私はあえて日本人を避けるようなことはしませんでした。日本人留学生の紹介で得られた現地の友人もたくさんいますし、正規留学生から得られる学校の情報も役に立ちました。よく日本人とばかりつるんでしまうテメットを聞きますが、講義は一人で受けていましたし、ネイティブの友達もいたので私は後悔していません。自分次第だと思います。

### ・留学で大変だったこと

課題の量が日本よりもかなり多く、当たり前ですがそれをすべて英語でこなさなくてはいけないのが大変でした。留学中はほとんど図書館に籠って勉強していました。同じクラスで友達を作れるとだいぶ楽です。また、気候が日本とは全く違うので体調を崩すことがありました。日本では風邪をひくことも稀だったのですが日本から薬を持って行っていたので対処することができました。現地のヘルスセンターも無料で利用できるのでも何かあったら頼ると良いと思います。

3年次での留学だったのである程度大学内でコミュニティも出来上がっていましたし、まわりは就活に向けて動き出していたので明大祭などの大きなイベントに出ることができない寂しさや自分だけ遅れているような焦りがありました。程度は人によりますが私のように精神的に不安定になってしまうことは留学中1度はあると思います。しっかり目的をもって留学生活を送り、勉強以外にもクラブ活動への参加や旅行で自分の生活を充実させることで気を紛らわすことができるので、留学前からしっかり目的を定めてなんとなく過ごすということが無いようにすると良いと思います。

### ・講義について

自分の興味のある分野の授業が一番面白いし、予備知識もあるのでわかりやすいと思いますが、アートやカメラの授業、演劇など日本で学生生活を送っていたら受けていなかったような授業を受けてみるのも面白いと思います。留学中の単位は欲張りすぎなくても明治大学でしっかり勉強すれば卒業に必要な単位数は得ることができると思うので、受講科目は多少冒険してみても良かったと後悔しています。講義形式の授業を取るときはクラスの人数を気にしてみると良いと思います。日本と同じで人数が多いと一方的に聞くだけの授業になってしまうことが多いです。自分がどのように授業に参加したいのかでディスカッションの多いクラスやプレゼンが多いクラス、レポートやリサーチ課題が多いクラスなど選ぶようにすると満足度の高い留学にできると思います。授業を選ぶには公式の授業説明文を見ること以外にも、ビューサイドで講義の口コミを見るとなんとなく感覚がつかめると思います。学期初めの1週間は履修変更ができるので多めに登録して行ってキャンセルするのも方法の一つです。ただ、後から登録しようとするとう定員オーバーしている可能性があるので変更する場合はキャンセルだけにして、履修自体は早めに登録しておくことをお勧めします。

### ・学校以外で

せっかく日本を離れて留学に来ているので現地の生活を楽しむのはもちろん、旅行もぜひしてみてください。西海岸だけでも都市によって雰囲気違いますし、東海岸は趣が全く違って面白いです。学校だけだとだんだん慣れてきて生活が単調になってしまうこともあるので、知らない土地に行くことで英語力が向上していることに気づいたり、計画を立てて実行に移し達成することで自信に繋がったりします。

現地では食事に誘ってくれる人がいたりパーティがあったりとイベントが盛りだくさんです。なるべく足を運ぶことでいろいろの人と知り合えますし、そこからまた別のイベントに招待してくれたりもします。キャンプやハロウィン、クリスマスパーティなど日本ではなかなか体験ができるのでぜひ気軽に人の輪に飛び込んでみてください。はじめは誘ってくれる友達がいなくても、大学が開いているイベントやクラブ活動に参加することで様々な人と出会えます。勉強するにしても部屋にこもるのではなくて図書館で勉強したりカフェに行ったりするとイベントで出会った人が覚えていて声をかけてくれたりします。

楽しいことばかりではないし、途中、毎日日本に帰りたいたいと思っていた時期もありましたが振り返ってみると100パーセント行って良かったと思える留学でした。

周りから何度も言われていると思いますが、準備をしっかりすることは充実した留学生活を送るために必要です。

しかし、いくら重要とは言え、勉強や将来のことばかり考えるのは疲れますよね。

そんなときは「プロドウェイでミュージカルを観る」「バケツみたいなアイスクリームを独り占めする」などやってみたいことをリストにしてみるといいと思います。考えるだけなら簡単なことでも実際にやろうと思ったときに航空券の手配やホテルの準備、近くのスパーへどう行くかといった問題が出てきます。面倒臭いですが、それ等の問題を解決することでいつの間にか成長していると思います。なにより、やりたいことを叶えられた方が楽しいですよ。

準備をたくさんして留学頑張ってください。